

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                |
|-------|----------------|
| 施設番号  | 66-1250        |
| 施設名   | 椎名町ちとせ保育園      |
| 施設所在地 | 東京都豊島区长崎1-1-14 |
| 法人名   | 社会福祉法人ちとせ交友会   |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

【自然の探究活動】～様々な季節の自然に興味関心をもってみよう～

<テーマの設定理由>

自然の探究活動をテーマに活動。身近な草花や昆虫に対して、日常的に強い関心を示しており、『もっと詳しく知りたい』『どんな花が咲くだろう?』という疑問の声が上がっているため。

季節によっての草花の種類や蝉の鳴き声の種類の違いなど探究活動を通して様々な自然物に興味関心に繋がり、更なる感性の広がり期待を目指した。

## 2. 活動スケジュール

- 4月～3月草花の観察調べ（継続活動）
- 4月～3月虫の生態調べ（継続活動）
- 4月～10月プランターの苺の苗植え、水やり、収穫（継続活動）
- 4月～9月マリーゴールドの苗植え、水やり、Tシャツ染出し
- 10月水族館にて川海に生息する生態調べ
- 6月～7月じゃがいも掘り体験、観察模写、クッキング活動
- 6月～3月梅シロップ作り、クッキング活動

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プランターに植える苺の苗、マリーゴールドの苗、肥料など購入し子どもたちで土を入れる苗を植えるところからスタート。水やりを欠かさず行うことで成長過程を知り発見に繋げる。また、戸外活動先で見つけた草花をビンゴ、スタンプラリー方式で自分たちで発見できるように準備した。
- ・図鑑や電子黒板を使って季節の植物や昆虫の生態を調べたクイズ形式蝉の鳴き声での種類を知る機会を作った。
- ・スマートフォンで撮影した動画を共有し振り返りの場面で使用。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

様々な季節の自然に興味関心をもつことができた。特に実際に自分たちで買い物、苗植え、水やりを通して咲いたマリーゴールドの花を、運動会お揃いTシャツ染出しを子どもたちと一緒に自然物からできる色の変化に気づくことができた。草花を押し花にしたり、図鑑や電子黒板で調べたり振り返りをする中で、興味関心が深まり、次の探究活動へと繋がることのできた。インスタグラムに投稿や園だよりクラスだよりを通して保護者様にも共有できた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

様々な自然物に触れていく中で、それぞれの種類の違いや、色、形、鳴き声などの違いに興味関心をもって探究できるような環境の配慮や声掛けを意識していった。

具体例として「クマゼミ」「ミンミンゼミ」「ツクツクボウシ」鳴き声の違い、何故「ひぐらし」という名前なのか？などクイズ形式、子ども同士でのディスカッションの機会を作ることによって様々な意見を出し合い、想像し興味関心が膨ら

み楽しく活動する姿が見られた。

保育者はすぐに答えを出さず、なるべく子どもたちが想像を膨らませて探究活動が楽しく出来るように配慮をした。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子ども主体で発見や探索活動ができるように環境を設定し、子ども中心のサークルタイムや少人数でのグループ分けなどを行い、興味関心をもって活動に取り組めるように配慮した。

「いちごって花が咲くの？」など小さな疑問から自分たちで調べてみる、素材を観察してみることも興味関心が湧いていく姿をみて、保育士も子どもの目線にたち疑問点や気づきを一緒に考え共感できるように、そしてその先に繋がっていくようにわくわく楽しい活動ができた。

すぐに答えを教えず見守ったことで、子供たちが自力で解決策を見つけ、その後の表情に強い達成感が見られた。先回りしない援助の大切さを改めて感じた。

最初は葉だけだったのに、数日で小さな白い花が咲き、その後花のあった部分からだんだん実になり赤いいちごへと形が変わっていく過程を子どもたちと経験できたことは良かった。

活動を取り組んだ様子を園内でも披露する機会を作ったことで、異年齢での繋がる保育活動にも繋がった。